

2024 年度

聖学院みどり幼稚園

学 校 評 価

聖学院みどり幼稚園

建学の精神・教育目標・年間目標

「神を仰ぎ 人に仕う」との聖学院全体の建学の精神(School motto)のもと、「神さまの愛の中で、人と関わりながら、生きる力を育む」を、聖学院みどり幼稚園の教育の目標としている。聖書が証しする神さまの言葉に耳を傾け、祈りつつ、「神と人とに愛され、自主性を持ち、自発的に行行動できる子どもを育てる」ことを目指している。

そのため本園では、具体的な教育課題として次の7項目を掲げている。

1. 遊びを通して子ども達の心身の成長(非認知的スキルの育成)をうながしていく。そのためには、豊かな経験と知識を持った教員が子ども達の状況を適切に把握し必要な支援を行う。
2. 子ども達自身が個性を伸ばし成長できるための環境作り(個々の興味関心を満たす用具・遊具・自然などが十分に提供される)を重視する。
3. 広い園庭の中、たくさんの草花や樹木や小動物達など豊かな自然に触れ、いのちの大切さと素晴らしさを自らの身体で知る。
4. 礼拝を通して、一人一人には異なる個性と賜物があり、全ての者が神さまに愛されている存在であることを知ると共に、他者のために祈る心を養う。
5. 幼児・児童に対する英語教育の専門家であるネイティブ教員による「英語の時間」や、外国人留学生達との交流を通して様々な文化に対する理解を深める。
6. 音楽や自然体験・文化体験など可能な限り本物に触れることをめざした様々な活動を通して、自身の国の歴史や文化を知り、味わう。
7. 家庭との連携を密にすることにより、子育ての教育環境を整え、また子どもの幼稚園時代にしかできない経験を通して保護者自身も子ども達と共に成長していく。

2024年度の年間保育目標も、例年と同じく「神さまの愛の中で、人と関わりながら、生きる力を育む」とし、「わたしは道であり、真理であり、命である。」(新約聖書 ヨハネによる福音書 第14章6節)との年度聖句のもとに歩んだ一年であった。

2024年度の評価項目

「教育研究質向上」「施設設備整備」「財政面」「人材・運営体制」「広報・情報公開」について、評価を行った。

自己評価

- A+ = 目標を達成した。
- A = 目標を概ね達成した。
- B = 目標の達成に向けた計画や方策をなどを実行しているが、達成にはまだ時間がかかる。
- C = 目標の達成に向けた計画や方策をなどを実行していない。

2024年度の評価項目、自己評価、目標、具体的な取り組みの状況とその効果に対する評価、今後の方策

評価項目	教育研究質向上	自己評価	A
目標	<ul style="list-style-type: none">・祈りに満ちた校風作り・キリスト教保育の充実・幼児教育の充実		
具体的な取り組みの状況とその効果に対する評価、今後の方策	<ul style="list-style-type: none">・祈りに満ちた校風作りのために、毎日の始業前の朝会での礼拝や、子どもたちとの生活、全園礼拝、職員会の礼拝などを通じて、祈りつつ保育を行っている。・キリスト教保育の充実のために、全園礼拝や聖学院教会との交わりなどを通じてキリスト教の理念に基づく保育の充実を図ってきた。また、全園礼拝カリキュラムに沿って、全園礼拝の前の週に聖書の学びの会を行った。キリスト教保育連盟および同関東部会・埼玉地区会等の各種研修に参加し、キリスト教保育についての学びを深めていった。聖学院大学の子ども教育学科の特任教授である相川徳孝先生にみどり幼稚園の園長補佐として引き続きアドバイスをいただくことによって、聖学院大学子ども教育学科との連携を図ることができている。・幼児教育の充実のために、毎日の報告会や、月1会の職員会（教師会）を通して、子ども一人ひとりの姿を捉えて行った。聖学院大学の子ども教育学科や、ぐうたら村（代表：汐見稔幸先生）、保幼小連絡協議会等、各所と連携しつつ、子どもの発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図った。また、金谷京子先生に特別支援教育アドバイザーとして子どもたちの姿を見ていただきつつカンファレンスを実施した。		

	<ul style="list-style-type: none"> ・満三歳児クラスについて、これまで9月からの受け入れとしていた受け入れを、2024年度からは4月から受け入れることとした。 ・ソニー教育財団の2024年度保育実践論文に応募した結果、応募論文148件の中から、聖学院みどり幼稚園は今回「奨励園 保育みらい賞」を受賞した。応募件数148件中、上位10位に次ぐ受賞となる。保育・教育の場、地域など、園の周りからも子どもも大人もウェルビーイングが叶う場所として認識され始めたみどり幼稚園は、まさに、この埼玉という、地域の子どもたちの大事な生きていく場所として、大きな役割を担うことになるであろう。
--	--

評価項目	施設設備整備	自己評価	A
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎の維持および改築に向けての準備 ・園庭環境の充実 		
具体的な取り組みの状況とその効果に対する評価、今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎の維持および改築に向けては、2024年度には園舎北面と西面の修繕などを行った。老朽化した園舎ではあるが、ここに集う園児や保護者、教職員の安全を確保するために力を注いできた。 ・園庭環境の充実については、ぐうたら村（代表：汐見稔幸先生）での継続的な研修などを通して、循環型社会を目指す園庭の実現のために継続してトリン組んでいる。また、「お庭で育つ会」を保護者の方々や子どもたちに呼びかけ、自然の一部である私たちが、豊かな自然に恵まれたみどり幼稚園の園庭をより深く理解し、その豊かさの継続や深まりのために、みんなで「園庭を育てていこう」という思いでアイディアを出し合いながら、新しい試みに挑戦している。「幼児教育の充実」の部分で触れたように、これら取り組みが評価され、ソニー教育財団の保育実践論文の受賞に結びついた。 		

評価項目	財政面	自己評価	B
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・制度面での対応 ・利用定員の確保 		
具体的な取り組みの状況とその効果に対する評価、今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の面では、2024年度は「子ども・子育て支援新制度」のうち、施設型給付を受ける幼稚園へと移行して3年目の時を過ごした1年であった。 ・利用定員（105名）の確保については、85名からスタートした園児数は、年度末には99名となったが、利用定員105名を上回ることができなかつた。今後、未就園児クラスや満3歳児クラスを充実させて行き、利用定員の確保につなげたい。 		

評価項目	人材・運営体制	自己評価	A
目標	<ul style="list-style-type: none"> 教員間の信頼関係を構築しつつ専門性を高める 人員配置の適正化 運営の適正化 		
具体的な取り組みの状況とその効果に対する評価、今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> 教員間の信頼関係の構築について配慮していった結果、一人一人が各自の見識を深め、自らの専門性を高められるように力を発揮して行き、ソニー教育財団の保育実践論文の受賞に結びついた。 人員配置の適正化については、よい保育を展開してゆくことができるよう配慮している。 運営の適正化については、子ども・子育て支援新制度の内、施設型給付を受ける幼稚園として、運営が適正化されるように整えてきた。また、就業規則に基づいた勤務となるように働きかけている。 		

評価項目 【テーマ】	広報・情報公開	自己評価	A
目標	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人がみどり幼稚園の保育の良さを伝えられるようにする 未就園児クラスの充実 ホームページやSNSを用いる 学校評価の実施、公表、報告 		
具体的な取り組みの状況とその効果に対する評価、今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人がみどり幼稚園の保育の良さを伝えられることについては、みどり幼稚園が大切にしていることを、日々の保育や例会や行事等を通して、保護者に十分に伝えることを心がけてきた。また、同窓会やみどりフェスタ等で、卒園生やその保護者および同窓会の方々と共有することを心がけてきた。そして、教職員のみならず、保護者の方々の中からも、地域との様々な繋がりの中でみどり幼稚園をアピールする企画を提案し、実行してくださるようになってきたことに感謝である。 未就園児クラスの充実については、0歳児（およそ6ヶ月）から1歳半頃の子どもたちを対象にした「もこもこクラブ」、およそ1歳半から3歳までの「にょきにょきクラブ」、2歳になったらお子さんが参加できる親子クラスの「つぼみ組」を充実させてきた。 2024年度も前年度に引き続き、毎月1回の見学会を行なった。 ホームページやSNSを用いることについては、ホームページの他に、Instagramおよびfacebookで日々の保育の様子をアピールしている。 学校評価の実施、公表、報告については、3月に自己評価アンケートを実施し、2025年度中に学校評価を公開する予定である。 		

総合評価

「教育研究質向上」「施設設備整備」「財政面」「人材・運営体制」「広報・情報公開」の5つの項目についてについて評価を行い、目標を概ね達成できていると思われる。引き続き具体的な取組を教員各々が熟考、共有し、実践していきたい。園児一人一人が喜びをもって園生活を送り、その園児の姿を通して、保護者からもより信頼を寄せられる幼稚園であるように、保護者との連携をさらに深め、安心感をもって子育てができる環境づくりに努めてゆきたい。

応答の概要

応答

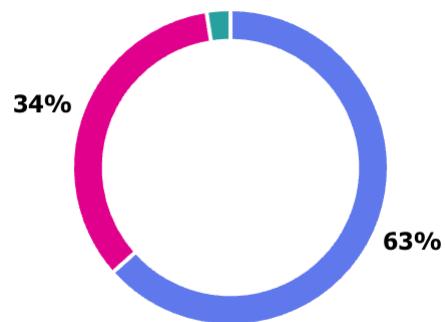
41



保護者アンケート

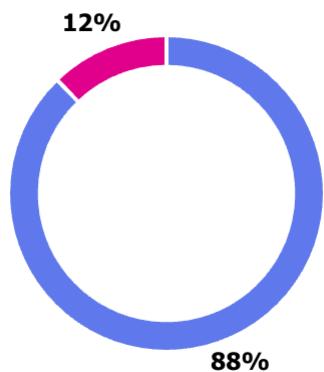
1. 質問 1 幼稚園はキリスト教保育の考え方を、保護者と共有している。(礼拝、保護者会、手紙、話等)

- 1:強くそう思う 26
- 2:どちらかと言えばそう思う 14
- 3:あまりそう思わない 1
- 4:まったくそう思わない 0



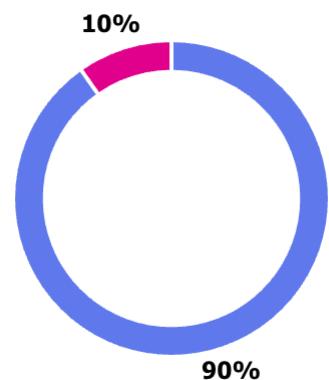
2. 質問 2 幼稚園は、子どもたち一人一人を受け止めて保育をしている。

- 1:強くそう思う 36
- 2:どちらかと言えばそう思う 5
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



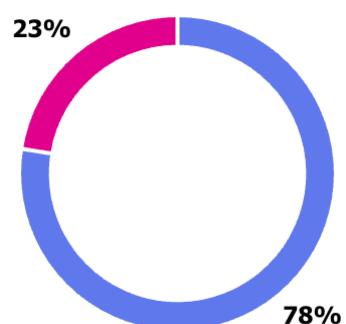
3. 質問 3 幼稚園は、子どもたちの気持ちを大切にし、主体性を育む保育をしている。

- 1:強くそう思う 37
- 2:どちらかと言えばそう思う 4
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



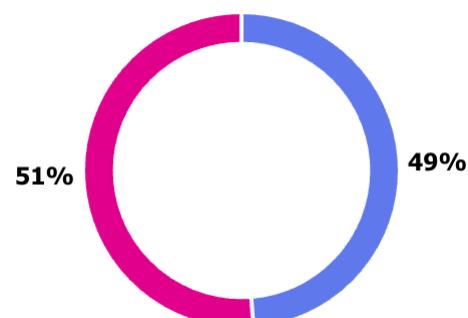
4. 質問 4 幼稚園は、子どもたちの育ちに応じた保育プログラムを実践し、個人に添った援助を行っている。

- 1:強くそう思う 31
- 2:どちらかと言えばそう思う 9
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



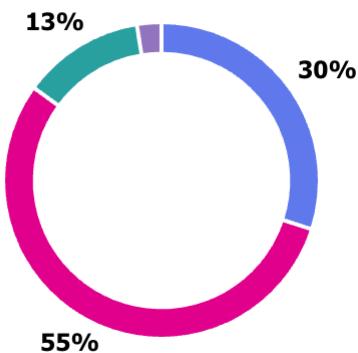
5. 質問 5 幼稚園は、子どもたち一人一人の表情や様子等から体調変化に気づき、把握に努めている。

- 1:強くそう思う 20
- 2:どちらかと言えばそう思う 21
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



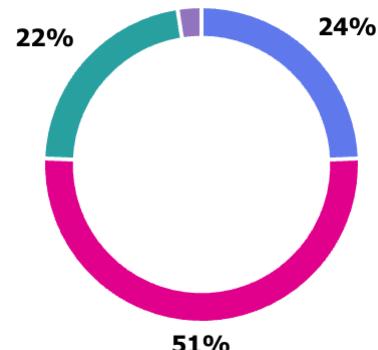
6. 質問 6 幼稚園は、子どもたちの健康管理、疾病予防に努めている。(園医と連携の上)

- 1:強くそう思う 12
- 2:どちらかと言えばそう思う 22
- 3:あまりそう思わない 5
- 4:まったくそう思わない 1



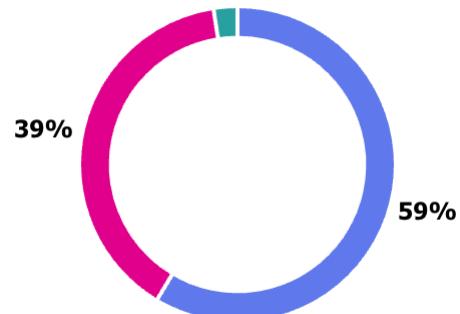
7. 質問 7 幼稚園は、補修・修繕等を含めた教育環境設備の点検、整備を適切に行っている。

- 1:強くそう思う 10
- 2:どちらかと言えばそう思う 21
- 3:あまりそう思わない 9
- 4:まったくそう思わない 1



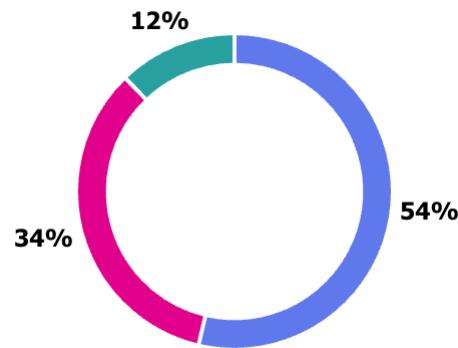
8. 質問 8 幼稚園は、子どもの興味や関心、育ちに応じて遊具・教材を整えている。

- 1:強くそう思う 24
- 2:どちらかと言えばそう思う 16
- 3:あまりそう思わない 1
- 4:まったくそう思わない 0



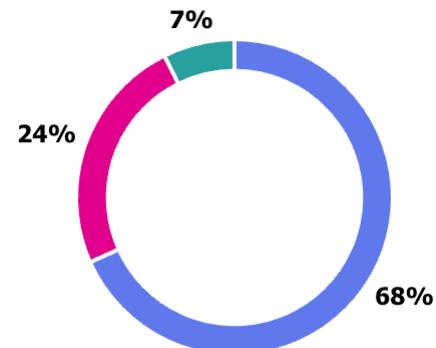
9. 質問9 幼稚園は、日頃から子どもたちの様子を保護者に伝え、また、保護者からの話を聞き、共に子どもの育ちを支えている。

- 1:強くそう思う 22
- 2:どちらかと言えばそう思う 14
- 3:あまりそう思わない 5
- 4:まったくそう思わない 0



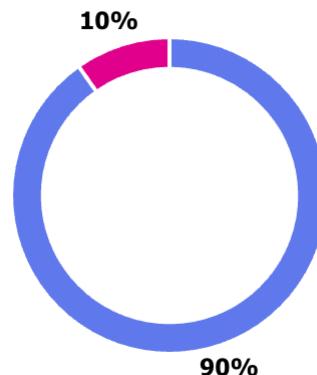
10. 質問10 幼稚園は、子どもたちの心身の健全な発達を願い、保護者と連携を図っている。(保護者会、講演会、行事等)

- 1:強くそう思う 28
- 2:どちらかと言えばそう思う 10
- 3:あまりそう思わない 3
- 4:まったくそう思わない 0



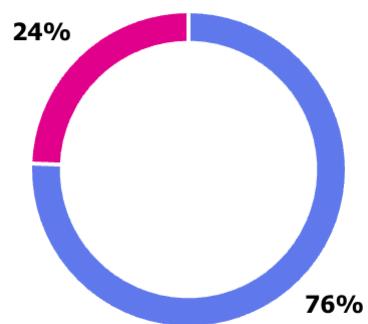
11. 質問11 お子さんは、幼稚園で過ごす事を楽しいと感じている。

- 1:強くそう思う 37
- 2:どちらかと言えばそう思う 4
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



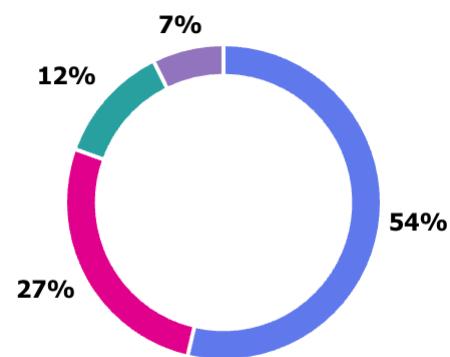
12. 質問12 幼稚園の教育・保育に満足している。

- 1:強くそう思う 31
- 2:どちらかと言えばそう思う 10
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



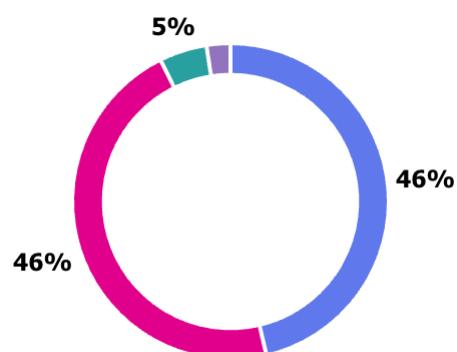
13. 質問13 私は、学校法人聖学院のスクールモットーが「神を仰ぎ 人に仕う」“Love God and Serve His People”であることを知っている。

- 1:強くそう思う 22
- 2:どちらかと言えばそう思う 11
- 3:あまりそう思わない 5
- 4:まったくそう思わない 3



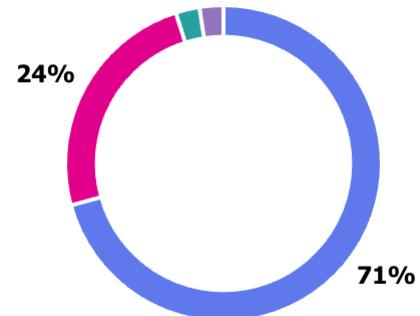
14. 質問14 私は、学校法人聖学院のスクールモットー「神を仰ぎ 人に仕う」“Love God and Serve His People”に共感している。

- 1:強くそう思う 19
- 2:どちらかと言えばそう思う 19
- 3:あまりそう思わない 2
- 4:まったくそう思わない 1



15. 質問15 幼稚園は、「神を仰ぎ 人に仕う」「Love God and Serve His People」のスクールモットーに基づいて、保育目標である「神さまの愛の中で、人と関わりながら、生きる力を育む。」を大切に保育を実践している。

- 1:強くそう思う 29
- 2:どちらかと言えばそう思う 10
- 3:あまりそう思わない 1
- 4:まったくそう思わない 1



16. ご意見をお寄せいただけましたら幸いです。

※保護者の方々からのご意見を項目ごとにまとめさせていただきました。いただいたご意見はすべて園で共有し、今後の保育・運営の改善に活かしてまいります。

「☆=取り組み済みです」 「★=取り組みについて今後も努力します」

【保育について】

〈全体的な傾向〉

多くの保護者の方から、以下の点について、非常に高い評価をいただきました。

- ・先生方の愛情深い関わり
- ・一人ひとりの子どもをよく見ている点
- ・子どもの育ちを大切にする保育姿勢

〈主なご意見〉

- ・子どもの内面まで丁寧に見てくれており、安心して通わせている
- ・先生方が連携し、園全体で子どもを見守っていると感じる
- ・自然環境や園庭活動、行事一つひとつに意図があり、子どもがたくましく育っている
- ・全ての先生が園児の名前を覚え、声をかけてくれることに感謝している

一方で、以下の点について、改善を望む声も寄せられました。

★けがやトラブルがあった際の園からの共有の仕方

☆水分補給や帽子着用など夏場の安全配慮

★降園時にその日の様子を聞けないことがある

【園行事について】

〈全体的な傾向〉

行事そのものについては概ね好意的に受け止められている一方、連絡の時期や分かりやすさについて課題が挙げられました。

〈主なご意見〉

- ★行事やイベントの予定を、もう少し早めに知らせてほしい
- ★登降園時刻や持ち物について、主語や対象を明確にしてほしい
- ☆夜遅い時間帯（20時以降）の配信は、緊急時以外は控えてほしい

【教職員について】

〈全体的な傾向〉

保育面での信頼は高い一方、保護者対応の在り方についていくつかのご指摘がありました。

〈主なご意見〉

- ★電話対応の際、名乗ってほしい
- ★保護者への言葉遣いについて、社会人としての配慮を求める
- ★行った活動について、可能であれば事前に知らせてほしい

【施設・設備について】

〈全体的な傾向〉

安全面・老朽化に関する不安や、見学者の印象を気にする声が多く寄せられました。

〈主なご意見〉

☆門扉を子どもが内側から開けられる点が心配

★プレイルームに照明カバーが無く地震時の落下や、天井扇の古さが心配

★トイレの臭いなど、衛生面の印象を改善してほしい

★老朽化した遊具について、安全で安心して遊べる整備を望む

☆園庭の砂埃対策として、散水などの工夫をしてほしい

★遊具再利用の取り組みは良いが、見学者への印象にも配慮してほしい

【衛生管理について】

〈全体的な傾向〉

健康管理への意識は評価されつつ、より安心できる環境整備を求める声がありました。

〈主なご意見〉

★咳エチケットなど感染症対策への配慮

☆水質や飲料水の安全性について、より安心できる設備の検討

【保護者の幼稚園への関わりについて】

〈全体的な傾向〉

園と保護者の連携を大切にしている点は評価されつつ、共働き家庭への配慮や情報提供の方法について課題が示されました。

〈主なご意見〉

☆共働き家庭にも配慮した運営を望む

★例会や講演会を、Zoom等で参加できる仕組みがあると助かる

★情報が多く分散しているため、整理して伝えてほしい

★ボランティア活動への参加に、心理的な負担を感じことがある

【その他】

〈主なご意見〉

☆通園バスの停留所や範囲について、家庭ごとの事情を汲んでほしい

☆先生方の顔や担当クラスが分かる一覧があると安心

☆園内の決定事項について、誰に聞けばよいか分かりにくいことがある

応答の概要

応答

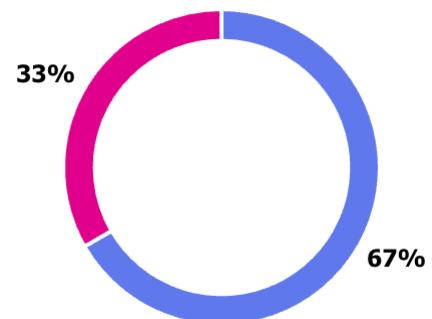
6



教員アンケート

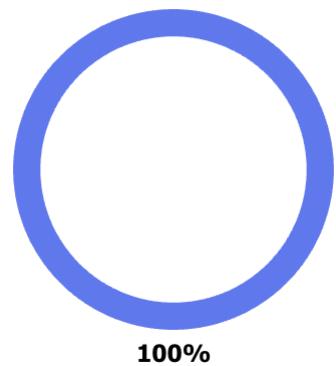
1. 質問 1 教員は、キリスト教保育の理念を共有している。

- 1:強くそう思う 4
- 2:どちらかと言えばそう思う 2
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



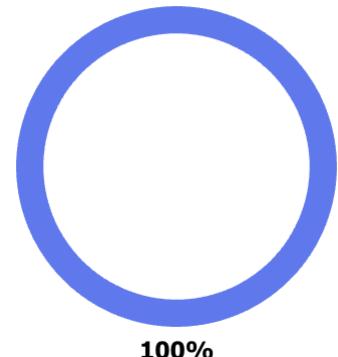
2. 質問 2 幼稚園は、園児一人一人の発達・個性を把握し、愛情を注いで保育をしている。

- 1:強くそう思う 6
- 2:どちらかと言えばそう思う 0
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



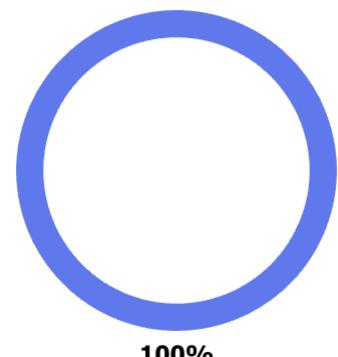
3. 質問 3 幼稚園は、園児一人一人の興味・関心を高め、自主的・意欲的に活動できるように保育をしている。

- 1:強くそう思う 6
- 2:どちらかと言えばそう思う 0
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



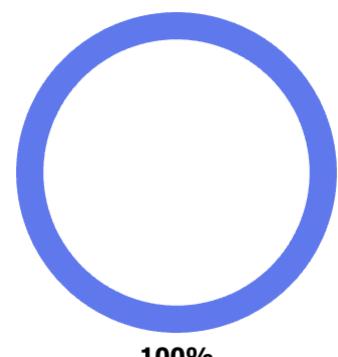
4. 質問 4 幼稚園は、子どもたちの育ちに応じた保育プログラムを実践し、個人に添った援助を行っている。

- 1:強くそう思う 6
- 2:どちらかと言えばそう思う 0
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0

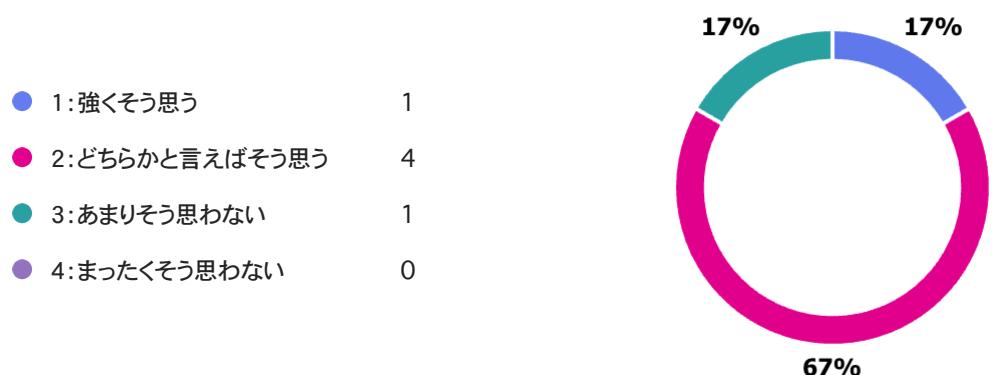


5. 質問 5 幼稚園は、園児一人一人の表情や様子等から体調変化に気づき、把握に努めている。

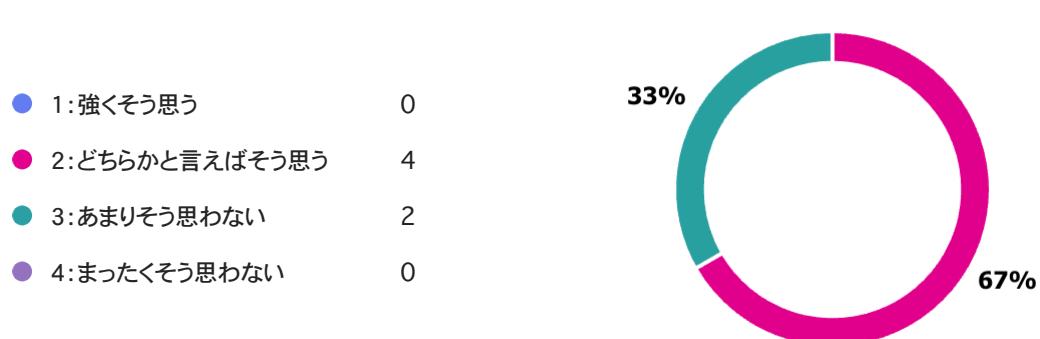
- 1:強くそう思う 6
- 2:どちらかと言えばそう思う 0
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



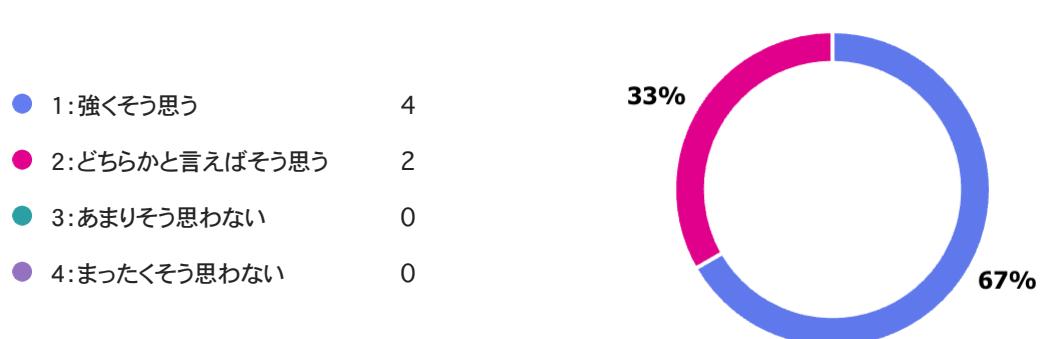
6. 質問 6 また、怪我、疾病等の対応については園医に相談の上、行っている。



7. 質問 7 幼稚園は、補修・修繕等を含めた教育環境設備の点検、整備を適切に行っている。

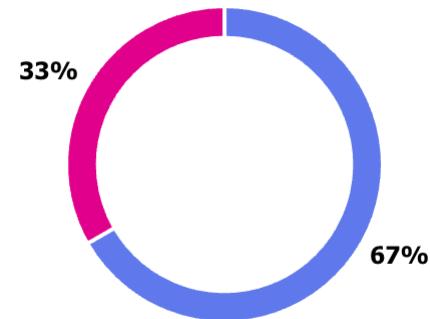


8. 質問 8 幼稚園は、子どもの興味や関心、育ちに応じて遊具・教材を整えている。



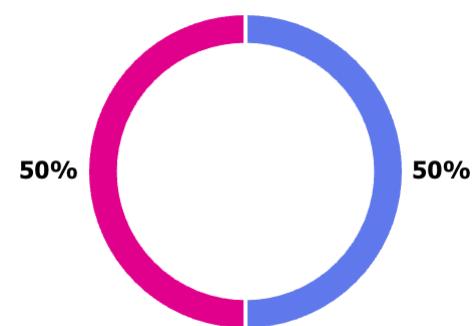
9. 質問9 幼稚園は、保育者の教育・研究の為の環境(学会・研修会への参加も含む)づくりに努めている。

- 1:強くそう思う 4
- 2:どちらかと言えばそう思う 2
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



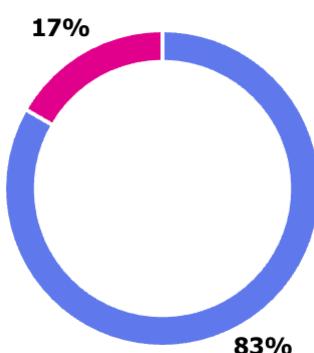
10. 質問10 幼稚園は、日頃から子どもたちの様子を保護者に伝え、また、保護者からの話を聞き、共に子どもの育ちを支えている。

- 1:強くそう思う 3
- 2:どちらかと言えばそう思う 3
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



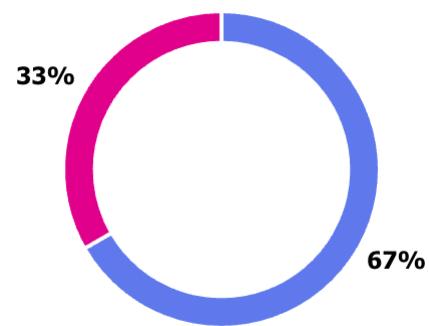
11. 質問11 幼稚園は、子どもたちの心身の健全な発達を願い、保護者と連携を図っている。(保護者会、講演会、行事等)

- 1:強くそう思う 5
- 2:どちらかと言えばそう思う 1
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



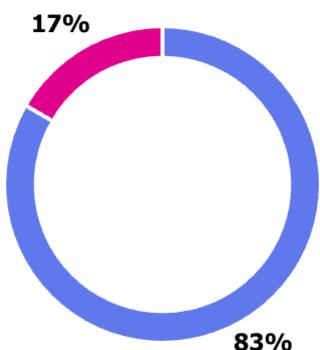
12. 質問12 教員は幼稚園に勤めている事に誇りを持っている。

- 1:強くそう思う 4
- 2:どちらかと言えばそう思う 2
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



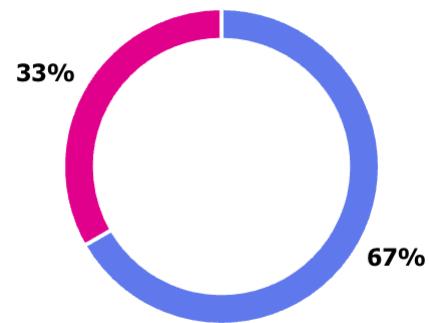
13. 質問13 教員は向上心を持って幼稚園に勤めている。

- 1:強くそう思う 5
- 2:どちらかと言えばそう思う 1
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



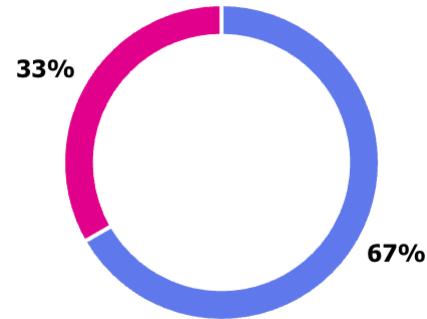
14. 質問14 私は、学校法人聖学院のスクールモットーが「神を仰ぎ 人に仕う」“Love God and Serve His People”であることを知っている。

- 1:強くそう思う 4
- 2:どちらかと言えばそう思う 2
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



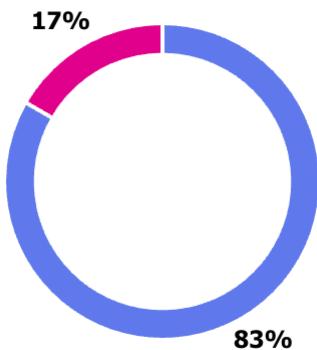
15. 質問15 私は、学校法人聖学院のスクールモットーが「神を仰ぎ 人に仕う」「Love God and Serve His People」に共感している

- 1:強くそう思う 4
- 2:どちらかと言えばそう思う 2
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



16. 質問16 幼稚園は、「神を仰ぎ 人に仕う」「Love God and Serve His People」のスクールモットーに基づいて、保育目標である「神さまの愛の中で、人と関わりながら、生きる力を育む。」を大切に保育を実践している。

- 1:強くそう思う 5
- 2:どちらかと言えばそう思う 1
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



応答の概要

応答

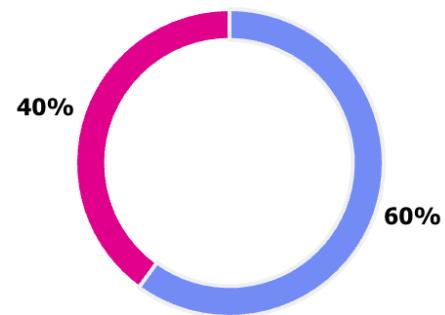
5



職員アンケート

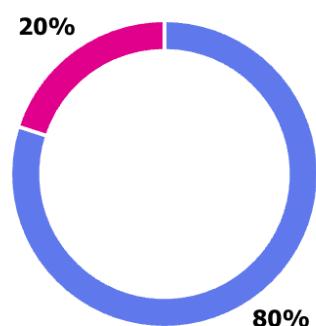
1. 質問 1 職員は、キリスト教保育の理念を共有している。

- 1:強くそう思う 3
- 2:どちらかと言えばそう思う 2
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



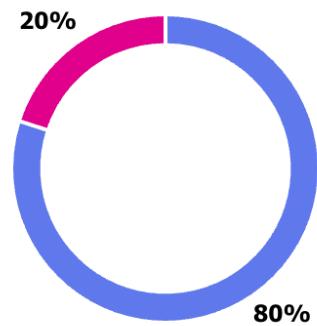
2. 質問 2 幼稚園は、園児一人一人の発達・個性を把握し、愛情を注いで保育をしている。

- 1:強くそう思う 4
- 2:どちらかと言えばそう思う 1
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



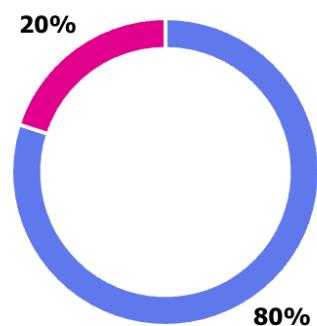
3. 質問3 幼稚園は、園児一人一人の興味・関心を高め、自主的・意欲的に活動できるように保育をしている。

- 1:強くそう思う 4
- 2:どちらかと言えばそう思う 1
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



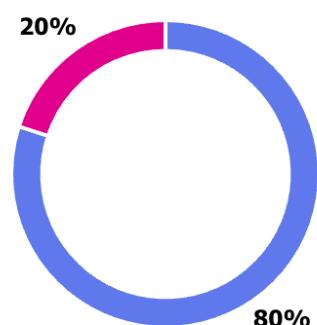
4. 質問4 幼稚園は、子どもたちの育ちに応じた保育プログラムを実践し、個人に添った援助を行っている。

- 1:強くそう思う 4
- 2:どちらかと言えばそう思う 1
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



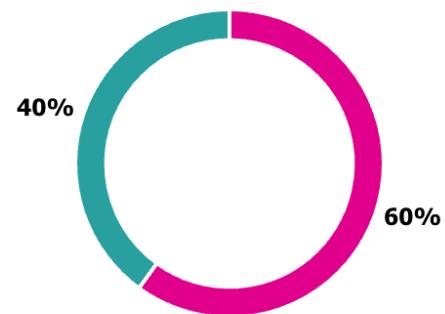
5. 質問5 幼稚園は、園児一人一人の表情や様子等から体調変化に気づき、把握に努めている。

- 1:強くそう思う 4
- 2:どちらかと言えばそう思う 1
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



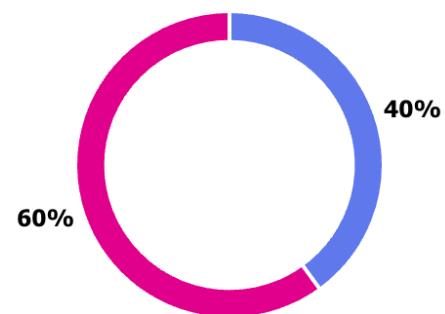
6. 質問 6 また、怪我、疾病等の対応については園医に相談の上、行っている。

- 1:強くそう思う 0
- 2:どちらかと言えばそう思う 3
- 3:あまりそう思わない 2
- 4:まったくそう思わない 0



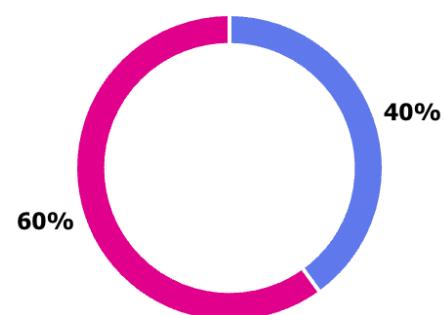
7. 質問 7 幼稚園は、補修・修繕等を含めた教育環境設備の点検、整備を適切に行っている。

- 1:強くそう思う 2
- 2:どちらかと言えばそう思う 3
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



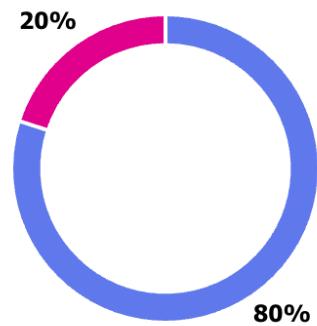
8. 質問 8 幼稚園は、子どもの興味や関心、育ちに応じて遊具・教材を整えている。

- 1:強くそう思う 2
- 2:どちらかと言えばそう思う 3
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



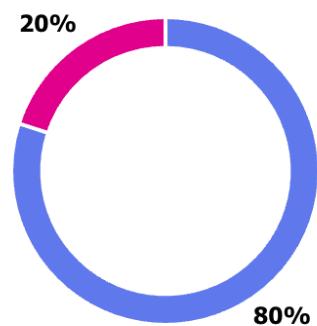
9. 質問9 幼稚園は、保育者の教育・研究の為の環境(学会・研修会への参加も含む)づくりに努めている。

- 1:強くそう思う 4
- 2:どちらかと言えばそう思う 1
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



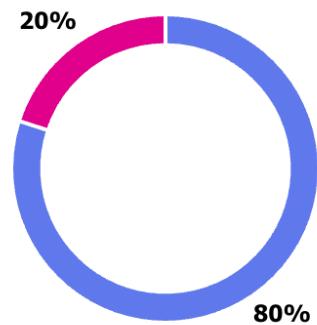
10. 質問10 幼稚園は、日頃から子どもたちの様子を保護者に伝え、また、保護者からの話を聞き、共に子ども の育ちを支えている。

- 1:強くそう思う 4
- 2:どちらかと言えばそう思う 1
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



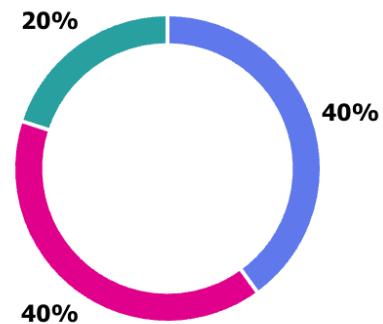
11. 質問11 幼稚園は、子どもたちの心身の健全な発達を願い、保護者と連携を図っている。(保護者会、講 演会、行事等)

- 1:強くそう思う 4
- 2:どちらかと言えばそう思う 1
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



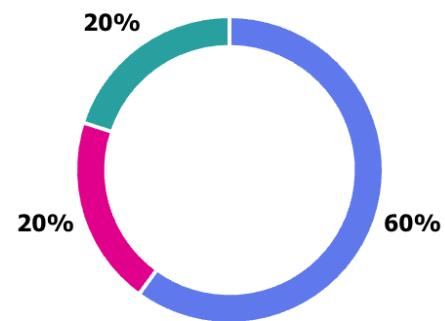
12. 質問12 職員は幼稚園に勤めている事に誇りを持っている。

- 1:強くそう思う 2
- 2:どちらかと言えばそう思う 2
- 3:あまりそう思わない 1
- 4:まったくそう思わない 0



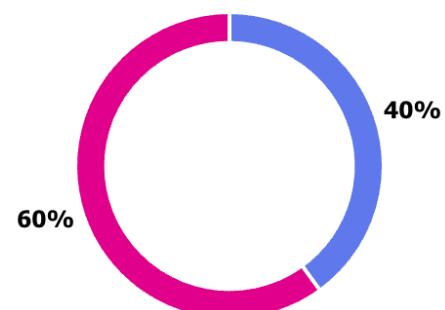
13. 質問13 職員は向上心を持って幼稚園に勤めている。

- 1:強くそう思う 3
- 2:どちらかと言えばそう思う 1
- 3:あまりそう思わない 1
- 4:まったくそう思わない 0



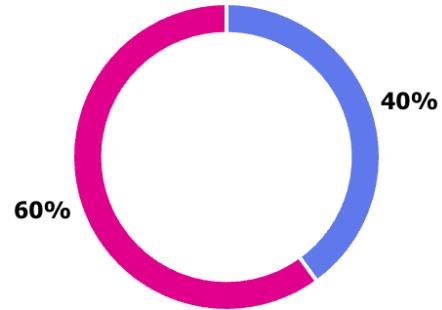
14. 質問14 私は、学校法人聖学院のスクールモットーが「神を仰ぎ 人に仕う」「Love God and Serve His People」であることを知っている。

- 1:強くそう思う 2
- 2:どちらかと言えばそう思う 3
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



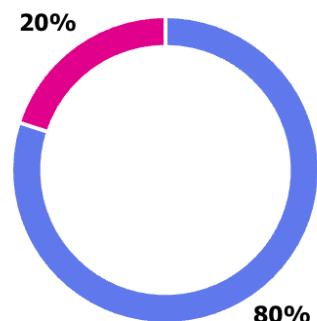
15. 質問15 私は、学校法人聖学院のスクールモットーが「神を仰ぎ 人に仕う」「Love God and Serve His People」に共感している

- 1:強くそう思う 2
- 2:どちらかと言えばそう思う 3
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



16. 質問16 幼稚園は、「神を仰ぎ 人に仕う」「Love God and Serve His People」のスクールモットーに基づいて、保育目標である「神さまの愛の中で、人と関わりながら、生きる力を育む。」を大切に保育を実践している。

- 1:強くそう思う 4
- 2:どちらかと言えばそう思う 1
- 3:あまりそう思わない 0
- 4:まったくそう思わない 0



幼稚園関係者による評価

《学校関係者評価について》今回は2025年度のクラス委員13名の方に学校関係者評価委員となっていました。

2024年度の評価について

幼稚園の先生方のみどり幼稚園への愛とより良くなるための努力が感じられる。

保護者アンケートについて

応答41とあるが、世帯数を考えても回答する方が少なく感じた。保護者アンケートにもあるが、常に色々な学級の先生や非常勤の先生まで全学年の園児のお名前や保護者まで認識し、個々へのそれぞれの対応をしていただることに大変感謝し尊敬を感じている。個人的な事だが、ある園児が保護者が正門から出る際に自転車にくつつき保護者から見えず一緒に園外へ走って出てしまい追いかけて連れ戻すことがあった。保護者も再三注意もし、気をつけていたが道路へ飛び出し名前を呼び続けたが止まらず抱き抱えるしかなかった。今後も先生方も人数など事情は承知だが、園外へ出てしまったら危ない行動をしてしまう園児についてはもう少し気を付けていただければと思う、特に安定に他の園児がいない時に遊んでいる場合など。

保護者の幼稚園への関わりについて

ボランティア活動参加については心理的不安を感じることがあるとあるがボランティアなので変えなくていいと思う。

- ・子供たちの健康管理、疾病予防に努めている。

→保護者、教員の評価が低いです。保育園では登園時や保育中も体温を測るが、幼稚園では測らないので、体調が悪い子がいても見逃してしまいそうかなと思います。各家庭でのより一層の体調管理が必要であると思います。

- ・補修修繕を含めた教育環境設備の点検設備を適切に行なっている。

→保護者、教員、職員ともに低い評価なので対応すべきとは思いますが、予算や業者の選定、工事の際の保育環境の変化など課題が多いことが予想されます。築年数は経過していますが、その分味のある園舎は好ましいです。大変かと思いますが、議論のほどよろしくお願ひします。

- #### ・保育面について

→教員アンケートでは愛情を注いで主体性を育む保育している、保護者アンケートではそれを強く思うという回答が多く、齟齬のない評価でした。これからも安心して預けることができます。

- ### ・その他

→例会や講演会をzoomで発信という発想は面白いと思いました。

→例会に参加できなかったときレジュメが園児を通じて配布されたりされなかったり、レジュメの内容も薄くてわからないところがあるので、後日ちゃんとした発信があるのなら不参加者へのレジュメの配布は不要かと思います。

私の意見は以上となります。

これからもよろしくお願ひします。

プレイディやお泊り会に生誕劇など。それぞれのイベントでは、先生方が毎日の生活の中からこども一人一人を大切にし、内容を考えてくださっていることに深く感謝しています。例会などで先生方のお話を聞くたびに胸が熱くなります。その例会になかなか参加できず、録画などで後日見れたりするといいなあと思いました。

元気いっぱいのこどもたちに対し、おとなの目が届かないところでかなりあぶないこともしているので、一歩間違えれば、と思うと少し心配です。

風が強くて寒い日に、こどもが、「幼稚園で毎日遊んでるからこんなのは平気だよ！」と話していました。園庭で毎日沢山遊びができるんだなと感じました。

お庭の会では兄弟も一緒になって参加でき、楽しんでいます。お庭がどんなふうに育っていくのか、今後も楽しみに参加し続けたいです。

活発に活動し続ける幼稚園、これからも楽しみです。わずかですが応援していけたらいいなと思っています。

全ての評価項目につきまして賛同致します。

アンケート結果まで拝見して感じたのは幼保一体化を受けて共働き世帯が増え保育園機能を求めていらっしゃる親御さまが増えているのかなと受け取りました。

園舎老朽化・設備面・見学者への見せ方については確かにと思う反面、卒園生としてかつて使っていた園舎と遊具がメンテナンスにより維持されている事に大変驚き嬉しく、そこでまた自分の子供が遊ぶとなるととても感慨深いものがありました。逆に強み(アピール面)でもあるのかと思います。設備面は検査数値を公表するなどで解決しますし、今はなかなかない設備が多いので経験値にも繋がるなど個人的には捉えています。(いずれ改築は勿論必要になるとは思いますが...)

広報では、FB/IG は利用者が減ってきてるので少し気になります。(もちろんもっとみどりを知ってほしいという気持ちからです)

未就園児クラスの充実は大変満足しております。広報協力もしたいと思っています。

以上

2024年度の自己評価を読んで

• 教育研究質向上

子どもたちにもキリスト教保育の教えやいいところが、とてもよく伝わっていると思います。毎日のお祈りの時間や、先生たちが分かりやすく伝えてくれているおかげかなと思います。個人的には月曜礼拝のいろんな先生方のお話が大好きです。とてもためになります。

満3歳児を4月から受け入れにしたことは、とてもよかったです。必要としている家庭が多いことを感じました。ソニー財団の保育みらい賞の受賞も素晴らしい、これからもよりよい形に変化し続ける、園の意気込みを感じております。

・施設設備整備

園舎の老朽化は否めないですが、安全性を守ることは欠いていないことは伝わります。これから直すべきもののプランが明確に分かるといいなと期待します。園庭を育てていこうという、新しい取り組みも、ここに集まる皆にとって、とてもいい刺激になるのではと思います。

・財政面

これから未就園児、満3歳児への取り組みなどをもっと地域に広め、定員が確保されることを願います。

・人材運営体制

人材は適切に配置されていると感じます。

・広報情報公開

例会でのお話や行事から、みどり幼稚園が大切にしていることが保護者によく伝わったと思います。SNSで気になる幼稚園をチェックする、ということは今は普通のことだと思うので、たくさんあげていいと思います。

未就園児クラスが充実していることも、素晴らしいです。もっともっとみどり幼稚園の良さを地域に広げていきたいです！

～～～

みどり幼稚園は1人ひとりのわくわくドキドキや探究心、心が動いた時に、それに挑戦、取り組むことができ、それが子ども達の大切な経験の積み重ねと自信につながる（自己肯定感）生活があるとあっても素敵なお幼稚園だと思っております。我が子は毎日帰宅するなり「幼稚園楽しかった！こんなことした！明日はあれをやる！」と目を輝かせてお話をしてくれます。まさにみどり幼稚園が大切にしている「遊びは学び。生きる力を育む」を子どもが日々の園生活の中で体現できていると強く感じております。それもひとえに先生方が日々、1人ひとりの子ども達の成長に丁寧に向き合い、今、子どもが心を動かされているもの興味があるものを汲み取ってその為に環境を整えてくださっているおかげだと強く感じております。

またみどり幼稚園は園での子どもの成長を先生と子どもだけではなく、保護者にも共有をしてくださいます。任意で、園庭で採れた梅の梅ジュース作り、焼き芋や園行事前の準備のお手伝いなども保護者も関わるので、幼稚園での子どもの様子を知る機会になり、周りの子ども達とも関わるので保護者も一緒になって幼稚園の出来事を共に楽しむことができるのは保護者にとってとても嬉しいです。またぐうたら村の体験も保護者をお誘いしてくださり、園が大切にしていることを保護者にも体験を通して共有してくださることが、子どもの成長を先生と保護者と周りの大人達で育むことを感じ保護者も楽しく子育てができます。

昼食では給食、お弁当以外にもキッチンカーランチがあるのもとても楽しい幼稚園だと思います。それを保護者を注文できることが嬉しいです。

また、フェスタでは地域の方々との交流も増え保護者も子どもも楽しい経験ができます。

今年は年度途中から転入する方が多かったように思います。これまでのみどり幼稚園の取り組みが地域の方々にも届き始め、転入の方も増えてきたのだと思います。子どもの人数が減少してきている昨今ですが、みどり幼稚園は「ここ通わせたい」と実感させる「選ばれる幼稚園」だと思います。

～～～

自己評価報告書を拝見し、園の教育方針が日々の保育の中で丁寧に実践されていることがよく伝わってきました。月並みではありますが、子ども一人ひとりを大切にし、自然や人との関わりを重視した保育に、安心感を覚えます。

また、職員同士の連携や家庭・地域とのつながりを大切にされている点も印象的でした。今後も、園の取り組みや考えを保護者に分かりやすく共有していただけると嬉しいです。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

家庭との連携を密にすることにより、子育ての教育環境を整え、また子どもの幼稚園時代にしかできない経験を通して保護者自身も子ども達と共に成長していく。という点において、まさに一緒に成長させていただいていると感じる。バスやオリーブクラスを利用していると中々直接先生からお話を伺う機会がないので、もう少し頻繁に情報共有ができると尚良いのではないかと感じた。

先生方が子どもの様子を本当によく見てくださっているなど実感しています。

キリスト教保育の充実、また人材運体制にも関わりますが、相川先生他ご退職される先生方が担ってくださっていたところを今後どのようにカバーしていくのか、園児数が減っているので仕方がないのかもしれません、気になります。

施設設備整備については、整備途中（使用を中止した園庭遊具を一部そのままにしていることや南側の門扉の鍵がかかりづらい時がある、子供が鍵を開けようと思えば開けられる等）は思います。安全とはいえないところもあると思いますが、園外でもこういった場所はあるので、そういう場所に対して子どもはどうするのかということに気づくきっかけになりました。また、先生方や他の保護者の方々の子供への対応や嗜め方を知る機会にも個人的にはなっています。

例会等を後で各自好きなタイミングで視聴できる仕組みがあるとありがたいなと思います。(プレイルームの説明会の案内を見て思いました。参加できなかった時や聞き漏れないか確認の為もありますが、園長先生の聖書を交えたお話を興味深くもう一度聴きたいなと思うことがあります。)

先生、職員の方々の一覧はとても良いと思ったので、引き続き継続していただきたいです。

バスキャッチの掲示板で通年見れるようにしておいていただけますと、助かります。

2024年度 聖学院みどり幼稚園 学校評価に対する感想・意見

いつも大変お世話になっております。

先生方が日々実践されている保育を、全容を把握しえない一保護者の目線で一方的に意見するのは僭越甚だしく大変恐縮ですが、ご査収のほどよろしくお願ひ申し上げます。

①評価項目に関する内容について

・利用定員の確保に向けて

転入超過傾向が続くさいたま市においても、将来推計人口を見ると「0～14歳の年少人口は、実数・構成比とともに基準年である平成22（2010）年の16.8万人（13.8%）をピークとして減少し、推計対象の最終年である平成62（2050）年には、実数で13.4万人、構成比で10.6%まで減少する見通し※1」とあり、今後転入超過傾向が続いても園児募集の追い風にはならないことが予想される。

各私学が募集定員確保に苦慮する昨今、青田買いの動きは一層加速し、いかに早い段階で保護者に園の存在や個性、そこで実践される教育の魅力が認知されるかは看過できない要素となるであろう。その点で、未就園児クラスのさらなる充実を図ることが重要となる。充実化のために、未就園児クラスの保護者から「未就園児クラスとしてみどり幼稚園を選んだ理由」を聞き取り、ニーズや傾向を把握・分析し、園の教育理念に叶う形で反映させることも有効な方法かと思われる。

また、日々の実践が評価された（ソニー教育財団の保育実践論文の受賞）ことは対外的にも保護者が注目やすいアピールポイントなので、PowerPoint などで分かりやすくスライド化して説明会で紹介してもよいのではないか。想像するに、ホームページのリンクで論文そのものを通して読む保護者はそれほど多くないだろうからだ。保護者アンケートで例会・講演会の Zoom 等で参加できるようにしてほしいと要望があったが、説明会の Zoom 参加が可能になれば、園児募集の間口を広げる上で一定の効果はあると思われる。

定員確保に向けて、色々な方策を考える必要はあるものの、長い目で見れば、募集活動において、唯一無二の個性となるのが一番の強みだと言える。

保護者目線では、他園との比較は常に行われており、新しい施設・最新の設備などは初見で好印象を持たれるが、幼稚園という場において施設・設備といったハード面はあくまで入口の魅力であり、いずれソフト面に凌駕される。比較は同じ土俵にいなければ成り立たない。「他園とは比較にならない、唯一無二の個性」が保護者の口から語られる、そんな幼稚園なら社会動態に搖るがされない存在となるはずだ。聖学院みどり幼稚園は可能性に満ちている。

※1 さいたま市ホームページより

②保護者からの意見について

- ・保育面での信頼の高さは素晴らしい、諸先生方ははじめ職員の方々の日々の研鑽・チームワークによるものと思う。
- ・保護者対応については、トラブルがあった際の初手の対応が遅い印象であった。子どもの負担が軽減できた可能性もあるので、トラブルを認識した時点で保護者に何らかの連絡があるのが望ましい。
- ・情報が多く分散しているため、整理して伝えてほしいという意見について、「フェスタ」などテーマごとにフォルダを設定できれば発信者・受信者の負担が少なくなるかと思う。
- ・行事やイベントの予定をもう少し早めに知らせてほしいという意見について、保護者へのお知らせを発言・配布する時期は、個人的な感覚では1か月前～遅くとも2週間前だが如何であろうか。

③教員・職員アンケートについて

内部アンケートとして概ね想定される結果であるが、質問6（怪我、疾病等の対応における園医との連携の在り方）においては今後検討の余地があるのではないか。

以上